ボーリング柱状図

調　査　名　平成30年度 甲山甲奴上市線 道路災害防除事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BP．1	調査位置	世羅郡世羅町西上原			北緯	34° 35’ 38.0″
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所			調査期間	平成 31年 4月 17日 ～ 31年 4月 23日	東経	133° 4’ 41.7″
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	348.82m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 35°	使用機種	試錐機	東邦DO－C	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	15.00m								エンジン	ヤンマーNFAD7	ポンプ	ヤンマーCP－55

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	348.42	0.40	0.40		砂質粘性土	暗褐	非常に緩い		シルト分多い表土。
1	347.12	1.30	1.70		シルト質砂～礫混り砂	暗灰～褐	非常に緩い		粘性土分を少量～中量含む砂質土主体。 固結度は小さく非常に緩い。 含水はほとんどない。
2					礫混りシルト質砂	赤褐～褐～灰褐	非常に緩い		確実に緩んだ崩壊土。 φ2～3mmの角礫・風化礫が少量散在する。 含水はほとんどない。
3	345.52	1.60	3.30						
4	344.82	0.70	4.00		礫混り砂	褐～灰	非常に緩い		上位の崩壊土と下位の強風化混在岩の間の様まれた土砂層。 すべり面土層と推定されるせん断痕跡や移動痕跡が認められる。 含水はほとんどない。
5									
6									
7					強風化混在岩	淡褐灰～帯青灰			土質区分での砂礫質土の強度しかなく、破砕を受けた強風化混在岩。 岩種は下位の基盤岩と同様、輝緑凝灰岩と粘板岩の混在岩様を呈する。 軽い拳圧で角礫状～砂礫状に砕ける。 換算N値は11以上40未満である。 太古の地すべり岩塊や破砕帯の可能性もあるが、今回の被災では不動地盤。
8									
9									
10									
11									
12	336.47	8.35	12.35						
13					風化混在岩	青灰～暗灰			輝緑凝灰岩と粘板岩からなる混在岩様を呈する風化混在岩層。 短棒状～砂礫状コアからなり、ハンマーの軽い打撃で角礫状に砕ける。 換算N値は50以上となる。
14									
15	333.82	2.65	15.00						

孔内水位(m)／測定月日：4/22 12.80、4/23 12.45

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	3	6	5
1.50	／7	／12	／16	／35	
2.15	1	1	2	4	4
2.47	／8	／14	／32		
3.15	1	2	4	7	7
3.47	／8	／14	／32		
4.15	3	4	4	11	11
4.46	／12	／9	／31		
5.15	4	5	7	16	16
5.45	／15	／16	／30		
6.15	5	8	6	19	19
6.45	／15	／16	／30		
7.15	6	7	6	19	19
7.45	／15	／16	／30		
8.15	4	5	6	15	15
8.45	／15	／16	／30		
9.15	4	5	7	16	16
9.45	／15	／16	／30		
10.15	4	5	6	15	15
10.45	／15	／16	／30		
11.15	6	7	9	22	22
11.45	／15	／16	／30		
12.15	10	11	25	46	46
12.45	／15	／16	／30		
13.15	18	17	17	52	52
13.45	／15	／16	／30		
14.15	19	20	19	58	58
14.45	／15	／16	／30		
15.15	16	16	25	57	57
15.45	／15	／16	／30		

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						4/19
						4/20
						4/22